

# 宇部市に暮らす 生きものとその環境



令和5年(2023年)3月

宇部市

## 【宇部市自然環境調査の概要】

宇部市には、安定したシイ林が残る北部の丘陵地や中央部の霜降山に加え、自然海岸が残る東部や常盤湖、真締川、厚東川などの水辺環境を有す南部の平野部と、地域それぞれに貴重な自然資源が存在しています。

市では、地域の自然環境情報を把握し、市民の皆様が自然に親しむきっかけづくりとすることを目的に、以下に示す専門家等による調査を令和2～4年度にかけて実施しました。本紙ではその結果に基づき、宇部市の自然の概略をお伝えします。



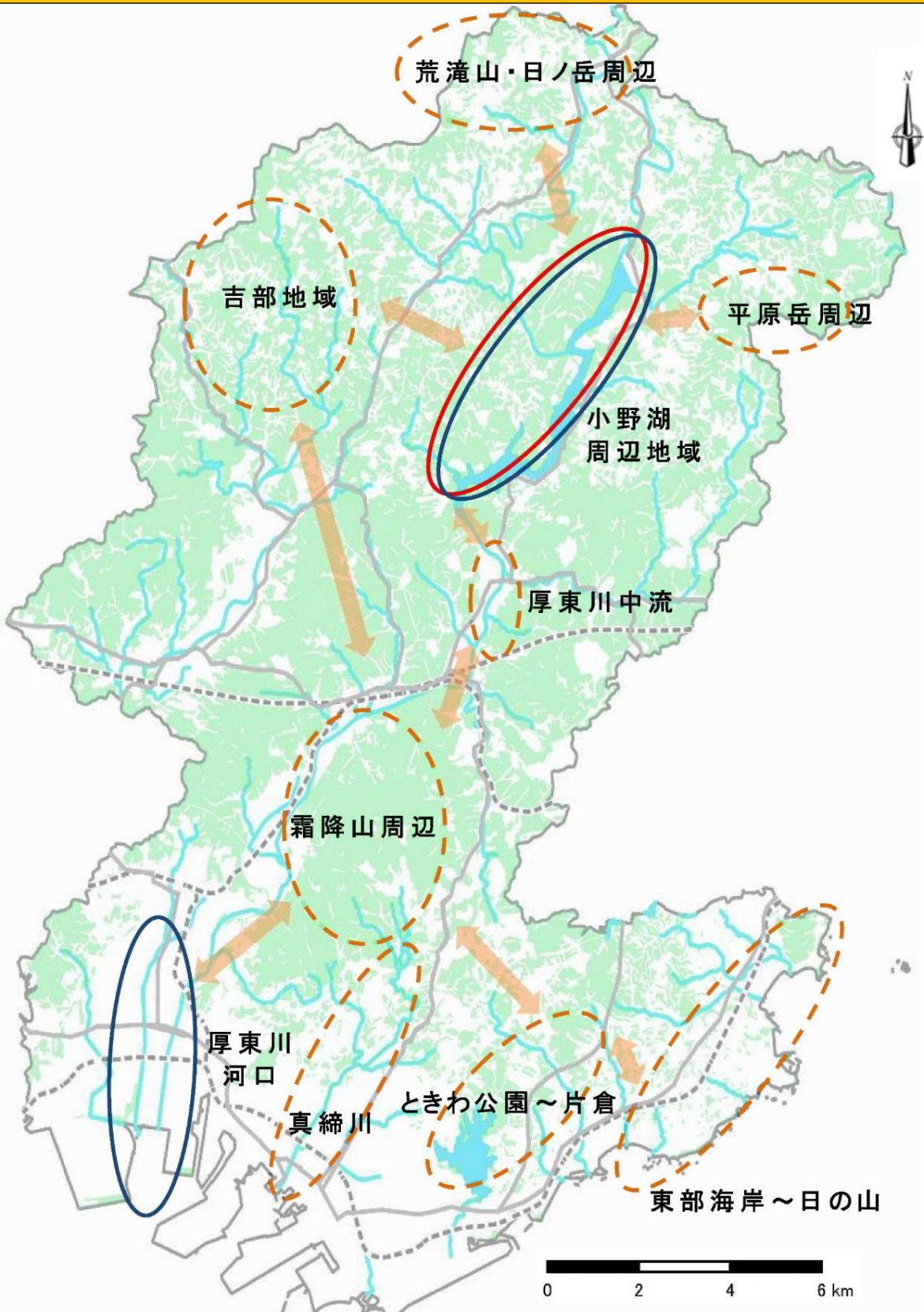
### 調査の担当者(担当分野)

今岡 照喜(地形・地質)・鶴谷 保(植物・植生)・後藤 和夫(昆虫類)

後藤 益滋(魚類)・原田 量介(鳥類)・村田 満(両生類・爬虫類・哺乳類)

※資料中の写真も提供いただいています。

宇部市の重要な自然環境



凡例

- ▭ 重要里地里山\*<sup>1</sup>
- ▭ 重要湿地\*<sup>2</sup>
- その他重要な自然環境
- 自然度の高い植生(植生自然度 7～10)
- 主な水系・水域
- ↔ 生態的回廊

資料：自然環境調査報告書(宇部市、1998年、2004年、2009年)及び1/25,000植生図「宇部」「宇部市東部」「厚狭」「阿知須」「湯ノ口」GISデータ(環境省生物多様性センター)

\*<sup>1</sup> 環境省により、生物多様性保全上重要な里地里山に選定されるもの

\*<sup>2</sup> 環境省により、生物多様性の観点から重要度の高い湿地に選定されるもの



## 小野湖周辺地域

コナラなどの落葉広葉樹に囲まれた小野湖は日本有数のオシドリ越冬地です。周辺の水田やため池等を含め、多様な自然環境が豊かであることから重要里地・里山及び重要湿地に選定されており、越冬鳥類、春～秋にかけて草地でみられる蝶類や哺乳類など生きものの宝庫です。



タコノアシ

ヒメチャバネアオカメムシ

ジャコウアゲハ

ゲンジボタル

オシドリ

トモエガモ

ワカサギ



## 厚東川中流

市を南北に流れる厚東川の中流部にあたり、桜つつみ公園では春はサクラが楽しめるほか、夏は水辺の生きものに身近に親しむことができます。厚東川東側には市民ボランティアによって整備されている里山ビオトープ二俣瀬があり、里地の昆虫や希少植物が観察できます。



コウホネ

ホンサナエ

ヒメボタル

ケンランアリノスアブ

ミサゴ

カジカ

モリアオガエル



## 平原岳周辺

平原岳は標高 395m の森林に囲まれた山で、初日の出詣での登山など地域に親しまれています。周辺の田畑を含め昔ながらの景観が残る地域で、里地・里山の哺乳類、両生類、水生昆虫などが生息します。冬季には、上空を飛翔する猛禽類が見られることもあります。



コガムシ



ガムシ



クロゲンゴロウ



ノスリ



オオタカ



ツチガエル



ニホンヒキガエル



## 荒滝山・日の岳周辺

荒滝山は標高 459m の市最高峰の山であり、重量感あふれる美しい姿によって「吉部富士」とも言われています。周辺にはシイ・カシ等落葉広葉樹林が広がり、鳥類、両生類等の重要な生息場になっています。また、荒滝山を源流とする荒滝の滝などの雄大な景観も楽しめます。



ヒラタガリカメシ



キビタキ



ミヤマホオジロ



オヤニラミ



アカザ



アカハライモリ



荒滝の滝



## 吉部地域

美しい棚田等昔ながらの景観が残り、周辺樹林を含め多様な鳥類が越冬するほか、水田脇の小川や水路に水生生物が生息します。国指定天然記念物「吉部の大岩郷」では 1m 以上の礫が重なる特異な景観が楽しめるほか、周辺では特異な環境を反映したシダ類などが生息します。



アオガネシダ



ヘイケボタル



コオイムシ



ルリボシヤンマ



コシアカツバメ



ベニマシコ



イシドジョウ



## 霜降山周辺

市街地に近接する山でハイキング等市民の憩いの場となっています。周辺には落葉広葉樹林が広がり、哺乳類が通年確認されるほか、春～夏にかけて鳥類の繁殖場となります。また、周辺のため池や湿地、小規模な水たまりでは冬季～早春に両生類の産卵が確認できます。



オギノツメ



ウマノオバチ



ミズスマシ



シルビアシジミ



ヤマドリ



オオルリ



ヤマグチサンショウウオ



## 厚東川河口

厚東川最下流部であり、大潮時には広大な干潟が広がり、そこに生息する魚類や甲殻類が夏場を中心に確認することが出来ます。また、河川周辺には希少昆虫類の生息地があり、市内では稀になってしまったヨシ原は湿地性鳥類、植物が確認出来ます。



シオマネキ



ハママツナ



ジュウクホシテントウ



ヒヌマイトンボ



ヨドシロヘリハンミョウ



オオヨシキリ



ワラスボ



## ときわ公園～片倉周辺

市民の憩いの場であるときわ公園の北部から片倉にかけて樹林地が続く、哺乳類が一年を通じて確認されます。春から秋にかけては夜間にフクロウの鳴き声が聞かれるほか、冬季は公園内の橋で越冬鳥類が間近で見られます。流入部の湿地には水生昆虫などが生息します。



キイロサナエ



エサキアメンボ



アカジミ



カンムリカイツブリ



オオバン



フクロウ



ホンドキツネ



## 真締川

霜降山を源流に市内中心部を流下します。下流部では川沿いに都市公園が設けられ様々なイベントが行われる一方、のんびり散策しながら野鳥や魚の観察も楽しめます。上流部は溪畔林の発達した自然度の高い環境が見られ、哺乳類・爬虫類の生息地になっています。



ムクノキ林



ミカドアゲハ



カワセミ



トビハゼ



ホンドタヌキ



ノウサギ



トカゲ



## 日の山～東部海岸

キワ・ラ・ビーチから白土海岸にかけて自然海岸が残存し、潮干狩り等に利用されるほか、春・秋には多くの渡り鳥が中継地として利用します。植松川河口付近には塩性植物が生育し、夏の開花時や秋の紅葉が楽しめます。また、日の山には希少な爬虫類が生息します。



カブトガニ



ハマボウ



オオズウミハネカクシ



ハマシギ



シロチドリ



タワヤモリ



カナヘビ



# 外来生物による被害を防止するために

残念ながら、宇部市内にも外来生物が多数生息しております。これらの中で特に人間の社会活動や生態系への影響が大きいと考えられるものは、「特定外来生物」に指定され、飼養・栽培・保管・運搬・譲渡が原則禁止されています。外来種による被害予防のため私たちになにができるでしょうか。いったん拡がってしまった外来生物を駆除するには、たくさんの労力や時間、またお金もかかります。このため、外来生物を「入れない、捨てない、拡げない」の3原則を守ることが重要です。



アメリカザリガニ



セアカゴケグモ



オオキンケイギク



オオフサモ



ポタンウキクサ



アルゼンチンアリ



ソウシチョウ



オオクチバス



ブルーギル



アライグマ



ヌートリア



アカミミガメ

# 私たちにできること

生きものは、それぞれが支えあって生きています。このつながりの中に我々人間も含まれており、食料や水、住居など自然の恵みを私たちはいただいています。一方、ゴミのポイ捨て等による海洋汚染や地球温暖化、里山の荒廃など私たちの暮らしが自然に及ぼす影響も大きいです。宇部市においてもこれらの問題は例外ではありません。自然環境の劣化を防ぎ、かけがえのない自然を次の世代に引き継いでいくため、一人ひとり何が出来るかみんな考え、行動していきましょう。

例えば、以下に挑戦してみよう！

わたしたちと生きものたちのためにできる

## 5つのこと

1  ふれよう

いろいろな<sup>ひと</sup>人と、いろいろな<sup>きせつ</sup>季節に、  
生きものがあるところに行こう

2  たべよう

季節<sup>きせつ</sup>のもの、  
近く<sup>ちか</sup>でとれたものをたべよう

3  えらぼう

生きものにやさしい<sup>しょうひん</sup>商品を  
しらべよう、えらぼう

4  まもろう

生きものをまもる<sup>かつどう</sup>活動を  
しらべて、<sup>さんか</sup>参加しよう

5  つたえよう

生きものに出会<sup>であ</sup>って感<sup>かん</sup>じたことを  
家族<sup>かぞく</sup>や友<sup>とも</sup>だちに<sup>つた</sup>えよう

©環境省